

高山市平和の日について

戦後 6 8 年が経過し、悲惨な戦争の記憶が薄れる中、改めて市民一人ひとりが守り引き継ぐべき美しい郷土や平和の大切さについて考え、家族や友人、地域などで語り合う機会が必要となっている。

一方、国外に目を向けると、現在も紛争や飢餓、貧困が絶えず、多くの尊い命が奪われており、これらは一刻も早く解決していかなければならない人類共通の課題である。

本市は、全世界から多くの観光客が訪れる国際観光都市である。昭和 4 1 年、国際連合が国際観光年の指定を行うにあたり定めた「観光は平和へのパスポート」という標語は、国際観光のもたらす異文化への共感や評価が世界平和に大きな役割を果たすものであることを明らかにしている。さらには、同連合が 9 月 2 1 日を「国際平和デー」として定め、加盟各国等に世界平和に関する取組みを求めていることを鑑みると、本市が平和な世界の実現を国内外に訴えていくことが必要である。

こうした状況を踏まえ、市民一人ひとりに平和への願いと感謝の気持ちが浸透し、その思いが未来へ引き継がれることを目指すとともに、国内外に向けて恒久平和の実現を訴えていくため、9 月 2 1 日を「高山市平和の日」とすることについて、議会の同意を求める。

平成 2 5 年 9 月 2 日提出

高山市長 國 島 芳 明

1. 国際平和デー

- ・ 9月21日をすべての国、すべての人々にとって共通の理想である国際平和を記念、推進していく日として、国際連合が制定
- ・ 国連加盟国、国連機関、地域組織やNGO、個人に対して、この日に国際平和に関する取組みを行うよう求める
- ・ 毎年この日にニューヨークの国連本部で国連事務総長が日本から寄贈された「平和の鐘」を鳴らす特別記念行事を実施

2. 平和首長会議

- ・ 都市と都市との緊密な連帯を通じた核兵器のない平和な世界の実現を目的に、広島市と長崎市が昭和57年に設立
- ・ 高山市は、同会議の趣旨に賛同し、平成22年に加盟
- ・ 加盟都市は国内外をあわせ5,700を超える